



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 藤田 茂樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営管理本部長 (氏名) 道嶋 仁

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	34,238	11.0	1,722	193.8	1,589	565.9	1,141	
29年3月期第3四半期	30,841	3.3	586	18.5	238	49.6	42	76.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,397百万円 (779.6%) 29年3月期第3四半期 158百万円 (38.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	23.35	
29年3月期第3四半期	0.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	55,654	15,332	27.5	348.13
29年3月期	53,721	16,533	30.8	334.67

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 15,332百万円 29年3月期 16,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		4.00	4.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	13.5	2,200	46.7	2,000	76.6	1,400	50.4	28.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	51,926,194 株	29年3月期	51,926,194 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	7,884,455 株	29年3月期	2,525,499 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	48,864,065 株	29年3月期3Q	49,402,029 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、FPD (Flat Panel Display) 業界については、大型パネル向け投資はテレビの大型化・高精細化による設備投資が続き、中小型パネル向け投資はスマートフォン用OLED (有機EL) 向けを中心に設備投資が続きました。

半導体業界については、データセンターやスマートフォン向けの需要増を背景に積極的な設備投資が継続されました。また、中国における設備投資も拡大してきました。OSAT (後工程受託メーカー) ではスマートフォン向けを中心に設備投資が継続しました。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高は39,643百万円 (前年同期比27.7%増) となり、好調に推移しました。

売上高は34,238百万円 (前年同期比11.0%増)、営業利益は1,722百万円 (前年同期比193.8%増)、経常利益は1,589百万円 (前年同期比565.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,141百万円 (前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益42百万円) となり、増収、増益となりました。

②セグメントの業績について

(ファインメカトロニクス部門)

FPD前工程は、大型パネル向け装置、中小型パネル向け装置ともに受注は増加しました。売上は、前年度上期の受注減少の影響が残り、減少しました。

半導体前工程は、中国メーカー向けの受注が大幅に増加し、受注は増加しました。売上は、大手ファウンドリーの設備投資計画の変更の影響などがありましたが、堅調に推移しました。

部門全体では受注は増加し、売上は減少しました。セグメント利益は経営体質強化が進展し利益率が改善したことにより、増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は18,292百万円 (前年同期比7.4%減)、セグメント利益は455百万円 (前年同期はセグメント利益38百万円) となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

FPD後工程は、大型パネル向け装置を中心に受注が好調に推移し、受注、売上ともに大幅に増加しました。

半導体後工程は、スマートフォン部品向け装置を中心に受注が好調に推移し、受注、売上ともに大幅に増加しました。

真空応用装置は、電子部品関連、車載関連装置を中心に受注、売上ともに堅調に推移しました。

部門全体では受注、売上ともに大幅に増加しました。セグメント利益は売上増加により、大幅に増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は13,008百万円 (前年同期比60.6%増)、セグメント利益は1,190百万円 (前年同期比284.8%増) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,933百万円増加し55,654百万円となりました。これは主に、現金及び預金が769百万円、売掛金が1,428百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,133百万円増加し40,322百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3,221百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,200百万円減少し15,332百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が943百万円増加し、一方で自己株式の取得等により2,330百万円減少したことによるものです。

この結果、当四半期連結会計期間末の自己資本比率は27.5%となり、前連結会計年度末に比べ3.3ポイント減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月11日に公表いたしました業績予想を上回る見込みとなりましたので通期連結業績予想を修正いたします。

また、業績予想の修正に伴い、平成30年3月期の期末配当予想を修正いたします。なお、当該予想に関する詳細は、本日(平成30年2月7日)に公表いたしました「平成30年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,493	12,263
受取手形及び売掛金	23,834	25,236
電子記録債権	623	539
商品及び製品	897	1,060
仕掛品	2,477	2,148
原材料及び貯蔵品	212	247
繰延税金資産	536	310
未収入金	926	1,056
その他	601	939
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	41,591	43,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,505	28,501
減価償却累計額	△19,543	△19,686
建物及び構築物(純額)	8,962	8,815
機械装置及び運搬具	4,385	4,436
減価償却累計額	△3,538	△3,365
機械装置及び運搬具(純額)	847	1,070
工具、器具及び備品	765	796
減価償却累計額	△583	△632
工具、器具及び備品(純額)	181	163
土地	119	119
リース資産	354	366
減価償却累計額	△298	△325
リース資産(純額)	55	41
建設仮勘定	624	233
有形固定資産合計	10,790	10,444
無形固定資産		
特許権	325	318
その他	275	357
無形固定資産合計	600	676
投資その他の資産		
投資有価証券	121	131
長期前払費用	5	5
繰延税金資産	247	226
その他	366	380
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	739	742
固定資産合計	12,129	11,862
資産合計	53,721	55,654

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,972	13,193
短期借入金	5,100	5,100
1年内返済予定の長期借入金	800	—
リース債務	37	23
未払法人税等	304	179
未払費用	2,908	2,949
前受金	604	820
役員賞与引当金	32	23
その他	853	651
流動負債合計	20,615	22,942
固定負債		
長期借入金	5,700	6,500
リース債務	24	20
長期未払金	2	2
退職給付に係る負債	7,403	7,411
役員退職慰労引当金	9	12
修繕引当金	319	319
資産除去債務	35	35
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	16,573	17,379
負債合計	37,188	40,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,107	9,037
利益剰余金	3,715	4,658
自己株式	△1,723	△4,053
株主資本合計	17,861	16,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	36
為替換算調整勘定	286	309
退職給付に係る調整累計額	△1,643	△1,417
その他の包括利益累計額合計	△1,328	△1,071
純資産合計	16,533	15,332
負債純資産合計	53,721	55,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	30,841	34,238
売上原価	23,593	24,961
売上総利益	7,247	9,276
販売費及び一般管理費	6,661	7,553
営業利益	586	1,722
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	1	1
為替差益	158	10
その他	28	30
営業外収益合計	191	44
営業外費用		
支払利息	100	98
デリバティブ評価損	373	36
その他	63	41
営業外費用合計	538	177
経常利益	238	1,589
税金等調整前四半期純利益	238	1,589
法人税、住民税及び事業税	56	202
法人税等調整額	139	246
法人税等合計	196	448
四半期純利益	42	1,141
親会社株主に帰属する四半期純利益	42	1,141

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	42	1,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	7
為替換算調整勘定	△133	23
退職給付に係る調整額	240	225
その他の包括利益合計	116	256
四半期包括利益	158	1,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158	1,397

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年12月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,357,000株を2,399百万円で取得しております。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,330百万円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が4,053百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカトロニクス	メカトロニクスシステム	流通機器システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	19,746	8,098	1,440	1,556	30,841
セグメント間の内部売上高又は振替高	36	103	0	—	140
計	19,783	8,201	1,440	1,556	30,981
セグメント利益	38	309	50	449	847

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	847
全社費用(注)	△291
その他	△317
四半期連結損益計算書の経常利益	238

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク システム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	18,292	13,008	1,437	1,500	34,238
セグメント間の内部売上高又は振替高	31	83	0	—	114
計	18,323	13,091	1,438	1,500	34,353
セグメント利益	455	1,190	3	386	2,034

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,034
全社費用(注)	△343
その他	△101
四半期連結損益計算書の経常利益	1,589

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。